

L^CR

Light Curing Reconstruction

P02 インタビュー
2年間を振り返り～連携でさらなる発展へ～

光硬化工法協会 会長 大岡 太郎

P04 新役員・地域支部長紹介

P05 雑感
ウイルス

顧問・倫理委員長 松井 正樹

P07 協会だより
アルファライナーがⅡ類資器材に登録
審査証明を変更取得し 積算資料を改訂
総会

浦安技術センター本館が竣工
下水道展 '18北九州に出展します
光硬化工法管理技術者講習・研修および認定技術試験

P10 役員名簿





大岡太郎会長インタビュー

2年間を振り返り ～連携でさらなる発展へ～

5月24日に行われた第16回定時総会において、大岡太郎氏を会長に再任いたしました。平成28年の会長就任時から振り返り、今期の展望について伺いました。

■この2年間を振り返って

はじめに、会員の皆様には日頃から光硬化工法協会を支えて頂き、大変ありがとうございます。皆様にご尽力いただきましたお蔭で、会員数は平成29年度末で470余社となり、施工延長も年間で約97km、対前年比134%と大幅にアップすることができました。当協会を代表し、御礼申し上げます。



2年前を振り返ると、若輩の私が会長に就任することには気後れを感じていましたが、皆様に認められる会長になろうと、まずは地域支部を周り、会員の皆様に顔を覚えて頂くとともに、光硬化の施工の速さ、技術力の高さなど、自分で感じた光硬化の良さをPRしていくことから始めました。

また、協会のさらなる発展のために、普及活動はもと

より、工法技術の進化を目指し、管きょ更生工法の永年の課題である品質確保についても先進的に取り組みました。

平成28年度には、長期曲げ弾性係数9,500N/mm²と群を抜く高強度が特徴で、これにより更生管厚の薄肉化を規格し、施工性に優れたアルファライナー工法の取扱いを開始、当初は自立管200mm～800mmまでの対応でしたが、平成29年度には最小で150mmまで拡充し、塩ビ管も適用管種に追加いたしました。

平成29年3月、日本下水道新技術機構の審査証明を取得し、平成30年4月には日本下水道協会のⅡ類認定適用資器材に登録され、技術的にも大きな進化を図り、幾多の管路更生工法の中でも確固たる地位を確立するにいたっております。

昨年7月に出された「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン-2017年版-」では、耐震性能を確

認するために、地震時における既設管きよの追従性を確認することが望まれる旨が記載されました。アルファライナー工法でも、ガイドラインに準拠し、今後追従性の検証を行っていく予定です。

これらの取り組みにより、発注者からの需要が多くなることも見込まれますので、今年度中には尼崎工場にて、アルファライナー製造機2号機を導入し、増産体制を構築いたします。

現場を周っていると、施工性は扱う会社（施工班）の習熟度によって差異があり、材料の品質を高めるだけでは解決しない、会社（施工班）全体のレベルアップを図ることも大事であると実感いたしました。そこで、この6月に東亜グラウト工業(株)が浦安技術センターに、実現場に近い研修が受けられる施設を完成させたので、権利者及び材料メーカーと協力し、会員企業の人材育成をサポートしていきたいと考えています。

■今後の展開

3、4年目に向けて、まず行いたいのはアルファライナーのφ1,000mm（自立管）までの大口径化です。形成工法で大口径に対応する技術は他工法ではあまり見られず、新たな需要を発掘すると共に会員の皆様が更に満足するよう開発に邁進する所存です。

また、昨今の業界のトレンドとして、管路においても包括的民間委託が増えており、点検・調査のみならず改築も含むという発注形態も出てきています。その中で当協会の所有する技術を使って頂くためには、本管更生以外にも、取付管やマンホール更生等、施工できる箇所のラインナップを増やし、オールマイティでサポートできる体制を作り上げれば、発注者も一括で発注でき、包括的民間委託のメリットに準じた提案ができるのではないかと考えています。

一方で包括的民間委託の懸念点として、値段だけで比較される傾向になりがちなことがあります。安くて品質も良ければいいのですが、安かろう、悪かろうの製品が入ってしまうと、発注者にとっても厳しい状況になってしまいます。品質をしっかりとみて頂けるような仕組みを協会としても考えていかなければなりません。

現在は包括的民間委託での発注の件数は僅かですが、10年後には主流になっていることが見込まれます。そのためには今から、どのようにすれば受注していただけるか、会員の皆様にもご意見をお伺いしながら考えていきたいと思っています。

今年は「目指せ、施工延長100km」を目標に、今後も技術や人材面にて会員の皆様のお力になれるよう努力して参りますので、引き続き光硬化工法協会へのご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



新役員・地域支部長紹介



副会長
㈱山田組
山田 寛



理事
藤野興業㈱
藤野 正勝



理事
大林道路㈱
大福 紀雄



理事
日本土建㈱
田村 頼一



理事
北関東地域支部長
真下建設㈱
真下 敏明



理事
㈱ナカバヤシ
多田 和之



理事
中部地域支部長
㈱山越
相澤 宏暢



理事
㈱オクムラ道路
草木 敏夫



理事
東亜グラウト工業㈱
森岡 真一



監事
大林道路㈱
北岡 善文



監事
九州地域支部長
㈱三和綜合土木
梅林 勲



北海道地域支部長
宮永建設㈱
宮永 雅己



東北地域支部長
東亜グラウト工業㈱
板山 豊



南関東地域支部長
東亜グラウト工業㈱
高野 浩治



北陸地域支部長
㈱キーブクリーン
小林 祐一



近畿地域支部長
エフアールビーサポートサービス㈱
前田 浩司



中国四国地域支部長
菊池建設工業㈱
菊池 英夫



最高顧問
東亜グラウト工業㈱
大岡 伸吉



顧問
倫理委員長
㈱G & U技術研究センター
松井 正樹



技術委員長
TMSライナー㈱
大河原 隆

「ウイルス」

光硬化工法協会

顧問・倫理委員長 松井 正樹

ウイルスとは、タンパク質からできた殻とその内部にある核酸から成っており、他の生物の細胞に寄生して増殖する“生物学的存在”である。(Wikipediaより)

*

自宅のパソコンを操作している最中に、突然、画面が停止して何の反応もしてくれなくなる経験は誰もお持ちのことと思う。いわゆるフリーズした状態である。こういう場合、パソコン操作に未熟な私は、いろいろクリックしては善処を図るが、最終的には電源を切って急場を凌いでしまうことが多い。ある時、単なるフリーズではなく、「あなたのパソコンはコンピューターウイルスに感染した恐れがあります。至急診断する必要があります。」のようなメッセージが画面中央部を占拠してきたことがあった。しかも、画面内にはマイクロソフト社らしきブランドマークも張りついているし、ご親切に24時間連絡可能な電話番号も付記されていた。おかしいな?と思って何度も消去しても、電源を切って再起動しても、やはり同じ画面が現れてくる。もちろん、通常のパソコン操作ができないので、こっちも焦ってしまう。ついには、個人的技量では原状回復は困難だと観念して、ご案内の電話に連絡してしまったのである。

今思うと、これが間違いの元であった。少なくとも、パソコン操作に精通している同僚氏にアドバイスを求めるべきであった。さて、電話してみても、通話中でなかなか接続できない。3回目のダイヤルインでやっとオペレーターに繋がった。この時、一瞬だが、救われた気持ちになったから滑稽でもある。驚いたことにオペレーターは外国女性で、カタコトの日本語で対応してくる。退避するチャンスはここにもあったのだが、この時点の私はとても寛容な気分になっていて、電話に向こうにいる外国籍の女性の日本で働くことの大変さにちょっぴ

り同情してしまう始末であった。そのカタコトの日本語で「アナタのパソコンにウイルスあるかどうかシンダンするため、エンカクソウサします。まず、シンダンリョウを払ってください」と言ってくる。何点か質問してみたが、私の喋る日本語は理解できているようであったので、信頼感が崩れることはなかった。そして、ウイルス感染という言葉の重みを麻痺してしまったのか、診断用ソフトを購入するという形で5000円のクレジット決済を実行してしまった。

それから、彼女の遠隔操作が始まった。しばらくその状況を観察していたが、さすがに怪しく感じてきた。要は、私のパソコン上にあるアプリケーションを単にON/OFFしているだけじゃないかと疑わしくなってきた。で、彼女の出した結論は「アナタのパソコンにはたくさんのウイルスがいます。今すぐタイサクしないと、使えなくなります。データも消えます」ということであった。しかも、このための駆除ソフトの導入とそのサポートのため年間費用が6万円程度必要になるということを、画面上に自筆英語を滑らせて丁寧の説明してきたのだ。無駄な時間と経費を浪費してしまったが、ここに至って事態の成り行きを確信できた。『間違いない。騙されている』。彼女の説明を遮って、断固



たる語調で、非常識な価格なのでサポートを受ける気はない趣旨を伝えると、「アナタのパソコン、ダメになりますよ。バイバイ」といって、遠隔操作から撤収すると同時に、電話も不通になった。私は、相変わらず作動しないパソコンをしばし睨み付け、自分の非力さを嘆きつつ天井を仰いだ。

*

翌日、近所の電気店のパソコン修理コーナーに件のパソコンを持ち込んで、復旧を依頼した。昨晚の成り行きを説明すると、店員さんは「お客さん、それは詐欺ですね。ITに詳しくないユーザーを狙って、ウイルス感染と見せかけて法外なサポート料をせしめる連中がいるんですよ。お金払うと、カモになりそうなりリストに載せられて、いろんなところから狙われるところでしたよ」と遠慮なく捲き立てた。私の傷ついたハートに塩をすり込むが如き発言であるが、店員さんの指摘する通りであった。私自身、個人使用でパソコンを導入したもの（メールのやり取りが中心であることもあり）、その後のメンテナンスやウイルス対策にほぼ

無関心であったし、IT苦手意識もあって、毎日正常に稼働してくれていることへの安心感に浸っていただけであった。

IT技術で一人前になることは大きすぎるハードルなので、このような話題で若い人達との接触を密にするのもいいかもしれない。あるいは、パソコンの作動状態をよく観察して、画面の反応が遅くなってきたり不都合を感じたりした時点で、パソコンショップに点検を依頼する習慣を身に着けることも必要であろう。そして、この種の詐欺行為に全く免疫ができていなかったことも大きな反省点である。この調子じゃ、あと何年かすると、振り込め詐欺にも簡単に引っかかるかもしれないと思った。皆様、ご用心ください。

【註】

- ・私用パソコンには、ウイルス対策としてマカフィー社ソフトを導入していました。
- ・クレジットの悪用を防止するため、直後にカード決済の停止を措置しました。

News Topics

下水道管路メンテナンス年報を公表

下水道管路のメンテナンスを確実に実施すべく、国土交通省では腐食のおそれの大きい箇所における下水道管路の点検実施状況と結果、対策予定等を「下水道管路メンテナンス年報」としてとりまとめ、公表しています。

調査結果のうち、下水道管路の点検実施延長については、年々増加傾向で法改正前（平成26年度）と比較し、28年度には約1,700kmと約14%増加しました。

一方で、腐食のおそれの大きい管路約5,000kmを対象に点検や措置状況を調査した結果、3点が課題として挙げられています。

課題1 5年に1回の点検を確実に実施するためには、点検実施率の平準化が必要

平成28年度の点検実施率は、マンホールで約13%、管きょ（延長）で約10%でした。また、平成28～32年度の5年間の点検実施の予定は、最終年度である平成32年度に調査を行うと回答した割合が、マンホールで約41%、管きょで約49%であり、現在の点検計画では5年目の負担が極端に大きくなっていることが判明しました。

課題2 点検で異状があった管きょについては、早期に調査が必要

点検の結果、異状ありと判断した管きょ133.0kmのうち、約10%にあたる13.6kmで詳細調査が未実施のままとなっていることが明らかとなりました。未実施の管きょについては早急に詳細調査を実施し、調査結果に基づいた適切な処置が必要です。

課題3 緊急度Iと判定した管きょについては、速やかな対策の実施が必要

詳細調査が完了した119.3kmのうち、緊急的に措置が必要な緊急度Iの管きょは約5.0kmであり、そのうち平成30年度以降に対策を予定している管きょは約1.5kmと判明しました。緊急度Iと判断した管きょについては、速やかに対策を実施し、道路陥没の発生等の未然防止を図る必要があります。

詳細については下水道全国データベースHP内下水道管路メンテナンス年報のページをご覧ください。

協会だより

アルファライナーがⅡ類資器材に登録

「アルファライナー工法用管更生材」は4月1日に（公社）日本下水道協会のⅡ類認定適用資器材（下水道用現場硬化型繊維強化プラスチック製管更生材）に登録され、豊橋市にある福井ファイバーテック(株)第5工場が認定工場の適用を受けました。現場硬化型更生管（CIPP）のうち、光硬化タイプとしては2例目の認定となりました。

1月に同工場で下水道用資器材性能確認等審査委員会が開かれ、アルファライナー工法用管更生材の性能確認試験を実施し、認定に至ったものです。

Ⅱ類認定適用資器材への登録および認定工場制度が適用されることで、工場製造から出荷までの品質管理を

日本下水道協会が定期的に立会検査を行うことで、安定した品質の更生材を供給する仕組みが構築されました。



下水道用資器材製造工場
認定書



認定工場の看板

審査証明を変更取得し、積算資料を改訂

シームレスシステム工法は平成29年3月に、アルファライナー工法は平成30年3月に（公財）日本下水道新技術機構の建設技術審査証明（下水道技術）を変更取得しました。

・シームレスシステム工法

シームレスライナーSおよびシームレスライナーSⅡについて、基準達成型Bタイプ（現場硬化型・自立管構造）として、浸漬後曲げ試験（新たな耐薬品性試験）と耐高圧洗浄性の確認試験を開発目標に追加して変更取得しました。

新たな耐薬品性試験とは、JSWAS K-2による耐薬品性試験に代えて、試験片を一定期間、試験液に浸漬し前後の曲げ強さおよび曲げ弾性率により性能を評価するものです。平成29年度に行われた管路更生工法検討調査専門委員会の中間とりまとめにおいて検討が行われ、昨年7月に発刊された「管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドライン-2017年版-」にも掲載されています。

・アルファライナー工法

アルファライナー工法では適用範囲の施工延長を29mから100mに変更取得しました。

両工法ともに審査証明の変更取得に合わせ、平成30年3月に積算資料を改訂しています。積算資料の詳細については当協会までお問い合わせください。



アルファライナー工法建設技術審査証明書
(適用範囲100mに拡大)



シームレス工法建設技術審査証明書
(新たな耐薬品性試験に適合)

総 会

第16回定時総会を5月24日（木）に東京・霞が関ビルの東海大学校友会館で開催しました。29年度の施工実績は前年度比34%増の約97kmと過去最高を記録しました。アルファライナー工法が日本下水道協会のⅡ類資器材にも登録され、信頼性のさらなる向上を目指す必要があります。今年度も過去最高実績を目標に、展示会・デモ施工など広報活動および施工品質の向上のため講習会・営業研修会の開催など、普及活動に努めて参ります。

また、総会後には松井顧問に「古き古き時代を創造してみる」と題してご講演をいただきました。

宇宙の起源から人類（ホモ・サピエンス）の誕生と日本への渡来、古代文明の出現と縄文・弥生時代の発展に至るまで、松井氏が調べ上げられた見識を披露されました。

なお、各地域支部の定期総会は以下の表の通り、順次開催されました。



第16回定時総会



松井氏の講演会

北海道地域支部	6月28日（木）	札幌すみれホテル
東北地域支部	6月20日（水）	仙台サンプラザ
北関東地域支部	6月18日（月）	パレスホテル大宮
南関東地域支部	6月 6日（水）	ハイアットリージェンシー東京
北陸地域支部	6月 8日（金）	ホテル金沢

中部地域支部	6月 7日（木）	名古屋国際ホテル
近畿地域支部	5月31日（木）	ホテル阪神
中国四国地域支部	6月28日（木）	松山全日空ホテル
九州地域支部	6月22日（金）	リーガロイヤルホテル小倉

浦安技術センター本館が竣工

光硬化工法の原権利者である東亜グラウト工業㈱では浦安技術センター「本館」をこのたび竣工しました。6月14日（木）には竣工記念祝賀式典を開催し、当協会会員の方にも多数ご来場いただきました。本館では各技術の施工研修を行うトレーニングセンターも備えておりますので、人材育成の場として当協会でも活用していく予定です。



本館のようす



竣工式では更生材硬化装置を展示

下水道展 '18北九州に出展します

7月24日(火)～27日(金)に北九州市・西日本総合展示場で、下水道展 '18北九州が開催されます。光硬化工法協会は、新館1階のB-728に出展します。光硬化の施工をVRで見せるコーナーを設け光硬化の施工の早さをPRさせていただきますので、ぜひお越しください。



昨年度のブース

光硬化工法管理技術者講習・研修および認定技術試験

当協会の管理技術者講習・研修および認定技術試験は(一社)日本管路更生工法品質確保協会の新資格制度に従って行っており、今年度もすでに以下の通り開催しております。各地域支部および会員様のご要

望に応じて、更新講習及び各工法技術研修・試験を開催しております。

詳細は、各地域支部事務局までお問い合わせください。

● 1次 下水道管路更生管理技士更新講習会

4月 5日(木)岡山市
4月12日(木)北九州市
4月17日(火)仙台市
4月23日(月)大阪市
6月21日(木)大阪市

6月26日(火)金沢市
6月26日(火)名古屋市
8月22日(水)名古屋市
9月 5日(水)都内



● 2次 各工法認定技術研修会

4月 5日(木)岡山市 シームレスシステム工法
4月12日(木)北九州市 シームレスシステム工法
4月16日(月)仙台市 シームレスシステム工法
4月17日(火)仙台市 アルファライナー工法
4月23日(月)大阪市 シームレスシステム工法
4月26日(木)札幌市 アルファライナー工法
5月17日(木)神戸市 シームレスシステム工法
6月21日(木)大阪市 シームレスシステム工法
6月25日(月)金沢市 アルファライナー工法

6月26日(火)金沢市 シームレスシステム工法
6月26日(火)名古屋市 シームレスシステム工法
7月25日(水)大阪市 シームレスシステム工法
7月25日(水)大阪市 アルファライナー工法
7月31日(火)北九州市 シームレスシステム工法
7月31日(火)北九州市 アルファライナー工法
8月22日(水)名古屋市 アルファライナー工法
9月 5日(水)都内 シームレスシステム工法

光硬化工法協会役員名簿

本部 <賛助6社>		
会長	大岡 太郎	東亜グラウト工業(株)
副会長	山田 實	(株)山田組
理事	藤野 正勝	藤野興業(株)
理事	大福 紀雄	大林道路(株)
理事	田村 頼一	日本土建(株)
理事	真下 敏明	真下建設(株)
理事	多田 和之	(株)ナカバヤシ
理事	相澤 宏暢	(株)山越
理事	草木 敏夫	(株)オクムラ道路
理事	森岡 真一	東亜グラウト工業(株)
監事	北岡 善文	大林道路(株)
監事	梅林 勲	(株)三和綜合土木
最高顧問	大岡 伸吉	東亜グラウト工業(株)
顧問/倫理委員長	松井 正樹	(株)G&J技術研究センター
技術委員長	大河原 隆	TMSライナー(株)
技術顧問	佐藤 敏明	東亜グラウト工業(株)
技術顧問	勝俣 健二	
事務局長	小川 公正	

北関東地域支部 <40社>		
支部長	真下 敏明	真下建設(株)
副支部長	五十嵐 豊	五十嵐建設工業(株)
幹事	吉川 祐介	金杉建設(株)
幹事	森口 敬造	(株)丸山工務所
幹事	佐々木 幸一	国際建設(株)
幹事	鈴木 行男	(株)大岩建設
監事	高野 浩治	東亜グラウト工業(株)
事務局長	深津 雄一郎	真下建設(株)

近畿地域支部 <121社>		
支部長	前田 浩司	エフールピーサポートサービス(株)
副支部長	多田 和之	(株)ナカバヤシ
副支部長	草木 敏夫	(株)オクムラ道路
理事	藤野 正勝	藤野興業(株)
理事	北浦 喜八朗	北浦建設(株)
理事	善積 達也	(株)昭建
理事	植田 直樹	(株)植田建設工業
理事	坂本 速人	(株)キタムラ
理事	柳原 良造	(株)柳原重機工業
理事	相本 正幸	大林道路(株)
理事	吉川 通	寄神建設(株)
理事	大森 出	(株)オクムラ道路
会計監事	玉置 真樹	東亜グラウト工業(株)
技術委員長	大森 出	(株)オクムラ道路
事務局長	色摩 勝司	

南関東地域支部 <42社>		
支部長	高野 浩治	東亜グラウト工業(株)
副支部長	鶴崎 晃	(株)田中建設
監事	森 大輔	山王建設(株)
広報部長	尾崎 巧	大林道路(株)
技術部長	山本 公彦	東洋テックス(株)
技術部長	平山 寛樹	東亜グラウト工業(株)
事務局長	桑木 大輔	東亜グラウト工業(株)

北海道地域支部 <27社>		
支部長	宮永 雅己	宮永建設(株)
副支部長	渡邊 仁	(株)TMS工業
幹事	佐藤 伸也	北東開発工業(株)
幹事	中里 喜美夫	大林道路(株)
幹事	中田 将博	道興建設(株)
監事	杉淵 将雄	ドレインメンテック(株)
技術委員	藤野 敏重	(株)TMS工業
事務局長	野川 豊	(株)TMS工業

北陸地域支部 <26社>		
支部長	小林 祐一	(株)キーブクリーン
副支部長	中屋 真悟	(株)江口組
副支部長	小林 祐一	(株)キーブクリーン
副支部長	高田 均	(株)高田組
監事	北川 雅志	加越建設(株)
監事	河合 克章	得能建設工業(株)
広報運営委員	横山 康治	横山建設(株)
広報運営委員	小寺 弘邦	東洋地工(株)
広報運営委員	奥井 秀則	(株)婦中興業
事務局	小林 祐一	(株)キーブクリーン

中国四国地域支部 <50社>		
支部長	菊池 英夫	菊池建設工業(株)
副支部長	別府 洋吾	(有)プレヴァン
幹事	三好 哲生	大林道路(株)
幹事	橋本 記征	住吉工業(株)
幹事	森 隆樹	東亜グラウト工業(株)
幹事	中村 康徳	(株)アクアスマート
幹事	国岡 稔	因幡環境整備(株)
幹事	玉置 礼子	(株)四国パイプクリナー
監事	米山 二郎	(有)ジンザイサニテック
事務局長	坂本 啓介	(株)アクアスマート

東北地域支部 <40社>		
支部長	板山 豊	東亜グラウト工業(株)
副支部長	竹谷 佳野	豊産管理(株)
幹事	笹垣 陽子	(株)清掃センター
幹事	森谷 晋	(株)アームズ東日本
幹事	鈴木 良博	(株)みなと
幹事	小林 健夫	小林土木(株)
幹事	高山 昌大	大林道路(株)
監事	庄司 幸治	(株)三和
広報委員長	森谷 晋	(株)アームズ東日本
技術委員長	武田 雅樹	東亜グラウト工業(株)
事務局長	武田 雅樹	東亜グラウト工業(株)

中部地域支部 <42社>		
支部長	相澤 宏暢	(株)山越
副支部長	田村 頼一	日本土建(株)
静岡県支部長	金原 秀明	須山建設(株)
愛知県支部長	岡田 裕輝	名工建設(株)
岐阜県支部長	国島 太佳生	(株)市川工務店
三重県支部長	田村 頼一	日本土建(株)
監事	旦野 邦男	鈴木工業(株)
事業推進部長	大矢 憲	東亜グラウト工業(株)
事務局長	熊澤 均	東亜グラウト工業(株)

九州地域支部 <95社>		
支部長	梅林 勲	(株)三和綜合土木
北九州地区支部長	山田 浩一	山田土建(株)
宮崎県支部長	久保田 真樹	(株)中野管理
監事	池田 昌秀	(有)金岩建設
運営委員	久保田 真樹	(株)中野管理
運営委員	内田 謙一郎	(株)テクノユース
事務局	皆嶋 弘己	(株)三和綜合土木

※平成30年7月1日現在会員数489社

編集後記

今号では冒頭に大岡太郎会長のインタビューを掲載いたしました。この2年間で、アルファライナー工法の取扱い開始をはじめ、協会としても、めまぐるしく躍進してまいりました。技術の向上はもちろん会員全体のレベルアップ、包括的民間委託にも対応していくオールマイティで対応できるサポートシステムの構築など、老朽管対策に寄与していく具体策をお伺いしましたのでぜひお読みください。

松井顧問には「コンピューターウイルス」をテーマにしたエッセイをご執筆いただきました。IT技術の発展とは裏腹に、松井顧問の体験されたような事案も発生しているようです。皆さまぜひお気を付け下さい。

6月18日7時58分に大阪府北部を震源とする最大震度6弱の地震が発生しました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。幸いにも下水道設備に被害はありませんでしたが、送水管の破損による断水、交通網の混乱等が発生しました。また、高槻市では小学校のブロック塀が倒壊し、歩いていた小学生が犠牲となってしまいました。倒壊の危険性が指摘されていたにも関わらず、対応できなかったことが悔やまれるとともに、日頃の維持管理の重要性を改めて考えさせられます。

LCR会報では、会員の皆様に必要な情報、有意義な話題を提供してまいります。ご意見やご感想、ご要望等がございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。



本部
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10-3 TMSビル
TEL: 03-5367-5173 FAX: 03-3355-5786

技術センター
〒441-3106 愛知県豊橋市中原町若西5-1
TEL: 0532-65-2705 FAX: 0532-43-0266

北海道地域支部
〒007-0868 北海道札幌市東区伏古8条2-5-19
(株)TMS工業内
TEL: 011-788-1250 FAX: 011-785-0617

東北地域支部
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町2-2-1
東亜グラウト工業株東北支店内
TEL: 022-237-3041 FAX: 022-237-3044

北関東地域支部
〒349-0141 埼玉県蓮田市西新宿2-117
真下建設(株)蓮田支店内
TEL: 048-768-7285 FAX: 048-769-1714

南関東地域支部
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10-3 TMSビル
東亜グラウト工業(株)内
TEL: 03-5367-8948 FAX: 03-3355-3107

北陸地域支部
〒916-0005 福井県鯖江市杉本町813
(株)キーブクリーン内
TEL: 0778-51-1322 FAX: 0778-51-8234

中部地域支部
〒468-0044 愛知県名古屋市中区白子原町508
東亜グラウト工業株中部支店内
TEL: 052-899-0355 FAX: 052-899-0355

近畿地域支部
〒540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東2-13 幸ビル4階
TEL: 06-6942-1027 FAX: 06-6942-1028

中国四国地域支部
〒731-3167 広島県広島市安佐南区大塚西6丁目5-10
(株)アクアスマート内
TEL: 082-848-3666 FAX: 082-849-1057

九州地域支部
〒800-0206 福岡県九州市小倉南区葛原東3-1-1
(株)三和綜合土木内
TEL: 093-474-0032 FAX: 093-474-0031